

当初の年間指導計画（横浜版学習指導要領で示した年間単元配列表）

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
第6学年	体づくり運動⑨ (ほぐし③) (柔らか・巧み⑥)	器械運動⑧ (跳び箱)	表現運動⑩ (表現・フォークダンス)	水泳⑩ (クロール・平泳ぎ)	陸上運動⑮ (短距離走・リレー、ハードル走、走り幅跳び)		ボール運動⑩ (ベースボール型)	保健⑧ 「病気の予防」	体づくり運動⑤ (力強さ・持続)	器械運動⑤ (マット)	ボール運動⑩ (ネット型)

再編成後の年間指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
第6学年	各学校からの課題に応じた家庭学習	体づくり運動⑧ (ほぐし③) (柔らか・巧み⑤)	水泳①	保健⑧ 「病気の予防」	表現運動⑨ (表現・フォークダンス)	陸上運動⑭ (短距離走・リレー、ハードル走、走り幅跳び)	器械運動⑦ (跳び箱)	ボール運動⑨ (ベースボール型)	体づくり運動③ (力強さ・持続)	器械運動⑤ (マット)	ボール運動⑨ (ネット型)	

※基本的に水泳の実技は扱わない。
水泳の心得、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方について指導することとした。

「病気の予防」の学習では、偏見や差別につながらないように配慮する。

「器具や用具を共用する必要がある単元は、実施をなるべく後に回すよう配慮した。

領域及び領域の内容	学習指導要領に示された内容					時数	
	内容の取扱い	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等	当初の予定 ()は5年時の実施時数	再編成後	
A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動	二学年にわたって指導すること (5学年、6学年の両方で実施)	○	○	○	3 (4)	3
	イ 体の動きを高める運動		○	○	○	11 (8)	8
B 器械運動	ア マット運動		○	○	○	5 (9)	5
	イ 鉄棒運動		○	○	○	0 (7)	0
	ウ 跳び箱運動		○	○	○	8 (0)	7
C 陸上競技	ア 短距離走・リレー	児童の実態に応じて投の運動を加えて指導することができる	○	○	○	5 (5)	5
	イ ハードル走		○	○	○	5 (5)	4
	ウ 走り幅跳び		○	○	○	5 (0)	5
	エ 走り高跳び		○	○	○	0 (5)	0
D 水泳	基本的に今年度は扱わない					10	1
E ボール運動	ア ゴール型	ゴール型はバスケットボール及びサッカーを、ネット型はソフトバレーボールを、ベースボール型はソフトボールを主として取り扱うものとするが、これに替えてハンドボール、ラグビー、フットボールなどを指導することもできる	○	○	○	0 (20)	0
	イ ネット型		○	○	○	10 (0)	9
	ウ ベースボール型		○	○	○	10 (0)	9
F 表現運動	ア 表現	学校や地域の実態に応じてリズムダンスを加えて指導することができる	○	○	○	7 (5)	6
	イ フォークダンス (日本の民謡を含む)		○	○	○	3 (4)	3
G保健	(3) 病気の予防	授業時数は2学年間で16単位時間程度とすること	○ 知識のみ	○	○	8	8

小学校学習指導要領 解説 体育編に「水泳運動系は生命にかかわることから、適切な水泳場の確保が困難で水泳運動系を扱えない場合でも、これらの心得については、必ず指導すること」とされていることから、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方についての理解も含めて指導することとした。